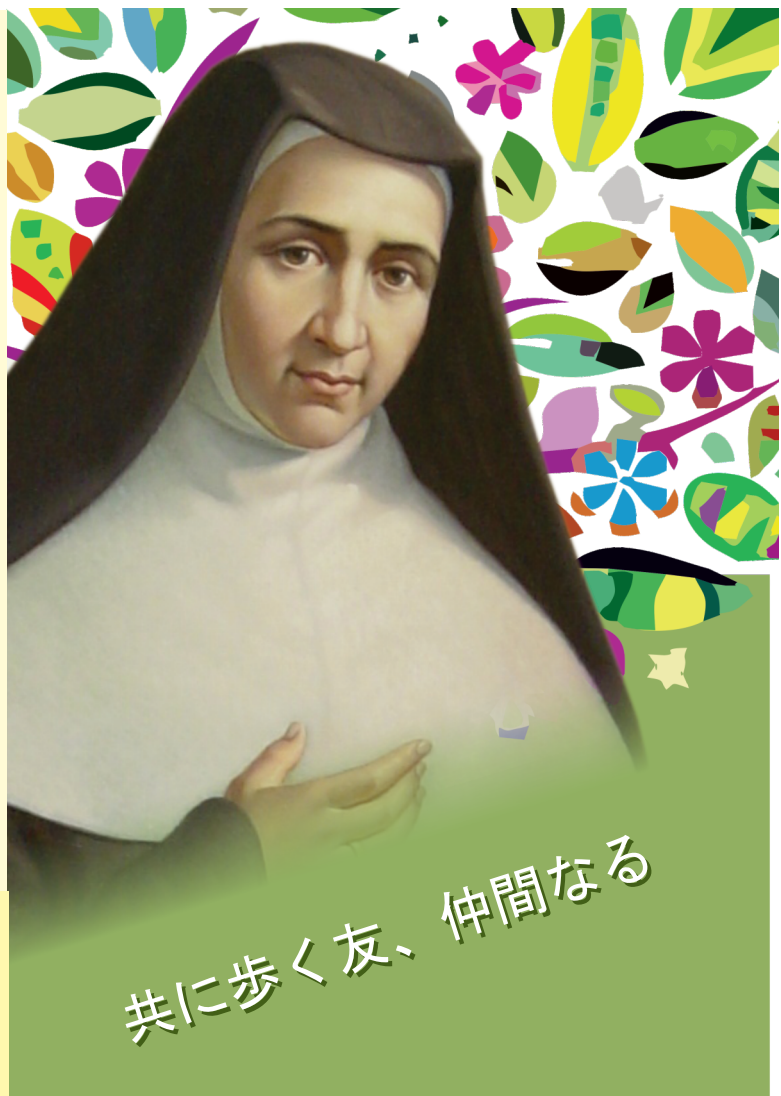


祈り

善き父なる神様、
あなたは尊者マリアアン
トニアパリスの心に、
教会への大きな愛と、
すべての人々に福音を述べ
伝える緊急性を置かれました。
彼女の生活の模範が私た
ちを真の使徒にするように手伝い、
彼女の取次によって、
あなたの慈しみにとどく
恵みをお与えください。

マリアアントニアパリスは
聖アントニオ マリア クラレ
とともに汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道会
を創立しました。

マリアアントニアパリスの取次によっ
て恵みを頂かれた方は、
次のところにお伝えください。
〒569 - 0077大阪府高槻市野見町2-15
汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道会
072 - 675-1278



共に歩く友、仲間なる

マリアアントニアパリスは1813年6月28日 スペイン（タラゴナ）のバルモルで生まれました。彼女は幼児期と青年期はタラゴナにあった自分の家で過ごしました。

彼女の修道召命は青少年期の時で、あるミッションが行われていた時に始まりました。

1841年にタラゴナにあったマリア会に志願者として入会しました。そこでそのまま9年間とどまりました。その当時修練者として受け入れることは国の法律によって禁じられていたのです。

1842年、神は彼女を通して行いたいたいと思われていたことを彼女に表し始められました。

1850年に宣教司祭アントニオマリアクラレを知ります。彼女は彼に使徒的使命に差し向けられた新しい会を創立したいという望みを表しました。

1851年にマリア会を退会し、若いグループたちと共に、神がお望みなら、離れることなく、海を渡るという誓願を立てました。当時サンチアゴデキューバの大司教であられたアントニオマリアクラレと呼ばれ、神から照らされた業を実現させるために

1852年仲間たちと一緒に出航します。翌年、彼とともに、サンチアゴデキューバにおいて貧しい子供たちの学校を始めます。「福音的勧告を忠実に生き、主の掟である福音をすべての人に教えるために働く」という大きな理想が彼女たちを押しやりました。

1855年8月25日、大司教クラレは汚れなきマリアの御宿りの使徒会の創立令にサインをしました。その名は後に汚れなきマリアのクラレチアン宣教修道会という名前になりました。福音的清貧を生きることと神の国を告げることが、教会の刷新に貢献するためにこの会の本質です。

1859年マリアアントニはスペインに戻り、他のいくつかの修道院を設立し、最後に1885年1月17日にレウスでなくなりました。そこに彼女の遺体が安置されています。

彼女の聖性の名声は世界に広がっています。沢山の方々が彼女の取次によって神の恵みを頂けるように祈っています。

マリアアントニアパリス 共に歩く友、仲間なる

マリアアントニアの次のことばを信頼の心をもって繰り返してください。

- 私たちの主イエスキリスト以外、なにも望みません。
- 神にお仕えし始めた時から、神は私の心に信頼を置いてくださいました。そして主は絶えず私の目の前におられました。私を支えるためにいつも私の横におられていることを確信しました。
- 神の愛は、私たちの苦さを甘みに変え、私たちの硬さをやわらげ、私たちの困難をたやすくし、私たちの日々の十字架を担ってくださいます。
- 希望のないところに神に希望を持つことを学ぶように。

